

就職特集 — 希望の就職をかなえるために

就活直前の3年次生へ

8月から始まる約2カ月間の夏期休暇は、これまでの自分を振り返る、そして、これから行わなければならないことを考える絶好の機会だ。大学生活は人生の中で4年間を占めるに過ぎない。しかし、社会に巣立っていく学生にとって、かけがえのない時間である。4年間を有意義に過ごすためのヒントを紹介しよう。

業界・企業研究のために…
夏期休暇を有効活用しよう

大学生活もいよいよ後半戦に入り、自分の将来を考える時期がやってきた。現時点では漠然とした自分の夢や将来像も、就職活動に臨むにあたってはこれを明確にする必要がある。この夏期休暇には、自分自身を知ると同時に、これから飛び込もうとしている社会をじっくり研究してみよう。

(ポイント1) 日本経済新聞を読む。まずは「第1面」で世の中の動きをとらえよう。ビジネスマンとして活躍するためには現実の社会を知ることが不可欠だ。見出しとリード(見出しの次にくる要旨解説部分)を読むだけでも社会情勢に敏感になる。また、「企業面(総合・1面・2面)」は業界全体の動きや個々の企業の活動に触れることができ、未知の世界が一気に身近なものに変わってくる。これを毎日続けることで夏期休暇明けには、業界や企業に関する情報が各段に増えている。さらに、気になった企業は、各社のホームページで業務内容をより詳しく調べてみよう。

(ポイント2) 業界研究書籍を読む。就職課では業界別の研究シリーズ本を貸し出している。新聞とは異なり業界ごとにまとまっているので、各業界の現状や将来性そして代表的な企業の比較もできる。この2カ月間に就職課にある書籍を読破してみよう。どの本を読んでもよいかわからないときは就職課スタッフに相談してみることだ。

(ポイント3) 就職イベントに参加する。夏期休暇中に就職情報会社が業界研究イベントを開催する。新聞や書籍ではわからない部分を自分の目と耳と感性で確認してみよう。企業採用担当者の話によると、最近の学生の企業研究は表面的で深みがないという。就職情報サイトやホームページなどの加工された情報をそのまま受け入れるのではなく、そこで働いている人の話を直接聞き、自分自身の考えを持ってみよう。必ず企業選択の自己基準が確立されてくる。



▲学内企業説明会(生田)



▲学内企業説明会(生田)



▲学内企業説明会(神田)

- すぐに活かせる「日経」の読み方 日本経済新聞社
- 業界と職種がわかる本 成美堂出版
- 日経文庫 業界研究シリーズ 日本経済新聞社
- 業界の最新常識 よくわかるシリーズ 日本実業出版社
- 日経 業界地図 日本経済新聞社



就職特集 — 希望の就職をかなえるために

就活直前の3年次生へ

第2回内定率調査まとまる

2007年度 就職活動状況調査(内定率)

- ① 調査期間(第2回):6月26日～6月29日(ポータルシステム) 7月3日～7月6日(電話調査)
 ② 調査対象:5月1日現在の通常在学4年次生のうち、その約1割にあたる468人(ポータル279人、電話189人)を無作為に抽出
 ③ 調査方法:ポータルシステムアンケート機能及び電話取材

| 学 部 | 調査数 | 回 答 数 | 有効回 答者数 | 内 定 数 | 内定率 | 進路決 定者数 | 決定率 | 上 場 | 上場率 |
|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|-------------|----------------|-------------|----------------|
| 経済学部 | 100 (21) | 97 (21) | 81 (17) | 60 (13) | 74.1 (76.5) | 45 (10) | 55.6 (58.8) | 22 (4) | 48.9 (40.0) |
| 法 学 部 | 83 (30) | 83 (30) | 75 (29) | 46 (17) | 61.3 (58.6) | 36 (17) | 48.0 (58.6) | 13 (7) | 36.1 (41.2) |
| 経営学部 | 66 (16) | 66 (16) | 60 (14) | 45 (11) | 75.0 (78.6) | 40 (9) | 66.7 (64.3) | 21 (5) | 52.5 (55.6) |
| 商 学 部 | 100 (27) | 98 (26) | 87 (25) | 65 (21) | 74.7 (84.0) | 44 (15) | 50.6 (60.0) | 26 (8) | 59.1 (53.3) |
| 文 学 部 | 90 (61) | 88 (60) | 78 (55) | 54 (41) | 69.2 (74.5) | 38 (28) | 48.7 (50.9) | 14 (10) | 36.8 (35.7) |
| ネットワーク 情報学部 | 29 (11) | 29 (11) | 26 (10) | 21 (7) | 80.8 (70.7) | 19 (6) | 73.1 (60.0) | 6 (2) | 31.6 (33.3) |
| 合 計 | 468 (166) | 461 (164) | 407 (150) | 291 (110) | 71.5 (73.3) | 222 (85) | 54.5 (56.7) | 102 (36) | 45.9 (42.4) |

※()内は女子内数 ※有効回答者数=回答者数-就職せず(大学院進学希望者・大学・専門学校入学希望者・資格試験受験準備等) ※自営は就職するに含む ※内定率=内定者数÷有効回答者数×100 ※決定率=進路決定者数÷有効回答者数×100 ※上場率=上場÷進路決定者数×100

就職特集

1・2年次生へ

熱く語れる大学生活を

企業の採用選考で必ず行われる質問は「大学時代に力を入れたこと」だ。【表1】はある上場企業の実際の採用選考プロセスだ。ここでも1次選考で大学生活の成果と具体的な行動が問われている。企業の採用担当者は、学生が大学生活で目標を持って取り組んできた姿、そして、失敗や壁を乗り越える過程での成長を入社後の可能性として評価する。授業時間割があらかじめ決められている高校とは異なり、大学はすべてが学生の自由意思に任されている。それゆえに、就職活動を開始するまでの3年半の過ごし方で個々人の人間的な魅力に大きな差が出てくる。入学から今日までの大学生活を漫然と過ごしてきたのならここで軌道修正し、後期からは自己の目標実現に全力を注いでみよう。自分の価値は「どこで学んだか」ではなく「何を学んだか」で決まる。



▲何にでも積極的に取り組む姿勢が大切(情報科学研究所パネルディスカッションで)

専修大学は学生が挑戦できる素材をたくさん用意している。もし目標を見失っているのなら、キャリアデザインセンター、学生相談室、そして就職課を活用することだ。必ず良きアドバイザーになってくれる。

【表1】ある上場企業の採用選考過程

| | 選考形式 | 評価項目 |
|------|------------|-------------------------------------|
| 1次専攻 | グループインタビュー | 大学生活での成果とそれを得る過程での具体的行動、プレゼンテーション能力 |
| 2次専攻 | グループワーク | 論理的思考力、チームワーク、積極性 |
| 最終専攻 | 面接 | 志望理由、志望度合、仕事に対する価値観 |

就職特集 — 希望の就職をかなえるために

育友会主催就職懇談会

人事採用担当者ら講演

「自己分析」には家族が協力を

7月1日、神田キャンパスで育友会主催の就職懇談会が開かれ、3年次生のご父母を中心に175人(学生含む)が出席した。

松田了会長は、就職活動を通じての親子のコミュニケーションを自身の経験から紹介し、『内定獲得』に王道はなく、自分らしく臨むしかないが、本日の各講演を今後の活動の参考にしていただきたい」とあいさつした。



▲就職懇談会—壇上は親としての体験談を語る松田会長

「次代を生き抜く力を身につけるために」を講演した、在学中に公認会計士試験に合格した経歴を持つ(株)デアゴスティーニ・ジャパン代表取締役社長の大谷(おおや)秀之さん(昭50商)は、期限つきの目標を立て、それを実現してきた経験から、どんな仕事にも応用できる能力をつけることの大切さを話し、「明日の成長のために今の自分に力をつけよう」と在大学生を激励した。

採用の現場からは、大正製薬(株)の理事・人事部長である渡邊哲さんが「求める学生像及び父母の役割」を講演。エントリーから採用までの流れや、試験の早期化・通年化といった最近の傾向を説明した。企業は、高い業績を挙げている人の行動特性＝「コンピテンシー」を評価の項目に入れていること、「コミュニケーション能力」を最も重視していることを話し、『就活』の基本である『自己分析』のスタートは、最も身近な存在のご父母が協力を。ご父母は自身の体験を話すことで、コミュニケーションをとり、お子さんのモチベーションを上げることができる。『就活』に集中できる環境を整え、定期的なフォローで見守ることが大切」と締めくくった。



社会人としての体験を語る大谷さん

学生の体験談では、吉田博さん(8面に体験談)が、模擬面接での失敗から「ヤル気」が生まれ、就職課を活用して第一志望企業から内定を得た経験を話した。



人事部の視点から話す渡邊さん



本学の支援プログラムを紹介する前田正志就職部長

就職特集 — 希望の就職をかなえるために

私の「シュウカツ」体験記

昨年秋から就職活動をスタートさせた、2008年3月卒業予定者の第2回内定状況調査がまとまった。希望の内定を得た4年次生たちは、どのように学生生活を過ごしたのか。「シュウカツ」スタート時点では何に悩み、失敗をどう乗り越えたのか。面接でうまく自己PRするにはどうすればいいのか…。6人の体験記からヒントを見つけてみよう。ただし、「シュウカツ」のスタイルは人それぞれだ。先輩たちの体験を参考に「自分らしいシュウカツ」を進めよう。



イラスト・渡辺正義

就活で見つけた“自分らしさ”

小野寺あずささん（国際経済学科、望月宏ゼミ
＝みずほフィナンシャルグループ）

「自分らしさ」を見つけること。これが一番重要なことだと感じた就職活動でした。私自身の「自分らしさ」は、普段の生活の中で学んだことが軸になっていました。

大学時代の大半をつぎ込んだゼミ活動では、時間をかけて、「考えること」の大切さを学びました。目の前の問題に対して「なぜ？」と疑問を持つクセがつき、そうしたクセは「なぜ、この企業を志望するのですか？」と問われることが多い面接の場面でも、役に立ちました。

大学1年次から継続してきたカフェのアルバイトでは、正しい言葉遣いと仕事に対する責任感を学びました。また、食事の支度など日々、家の手伝いをする中で、「日常生活に密着した、人の役に立つ仕事が私に向いているのではないか」と気づくことになりました。これら生活の中で知らず知らず身についたことが、就職活動で自分と向き合う時期に「自分らしさ」を見つける、大切なカギとなりました。

大学時代の「今しかできないこと」は、決して大きなことではなく、普段の生活の中で大切にしてきたことだと思います。そして、興味のあることに時間をかければ良いのだと思います。

それら一つひとつの経験が、どんな職業に向いているかを考える時に大きな軸となります。まず、目の前にあることに自分なりに意味づけし、充実した毎日を送ることが、今の時期に大切なことだと思います。「自分らしさ」を武器に頑張ってください。

就職課に通い詰めた日々

吉田博さん（法律学科＝本田技研工業）

「バイクや車に乗ることの“感動”を伝える仕事がしたい」という夢が就職活動の原動力でした。就職活動を始めるきっかけは10月に参加した就職課の講座。趣味がバイクだったので、やりたいことはすぐに決まりました。しかし、自動車メーカーは狭き門。ゼミナールにもサークルにも所属しておらず、特別な経験をしているわけでもない。アルバイトと趣味のバイクに明け暮れる大学生活を送っていた私が、自動車メーカーから内定をいただくことはとても困難だと思いました。

そこで、どうすれば自分の夢を実現できるかを知るために「GANBA」という就職ゼミナールや就職課が開く各種の講座、就職合宿などに積極的に参加しました。また、企業説明会やOB訪問をし、就職活動のアドバイスをさせていただくために、時間の許す限り就職課に通い詰めました。今振り返ってみて、私が無事に就職活動を終えることができたのは周りの人々、就職課の人々の支えがあったからだと思います。

この就職活動で感じたことは、就職活動は「一人」だということです。すべては自分自身を知ること。自分の進む道を見つけること。しかし、「独り」ではありません。家族や友人、就職課の人々が支えてくれます。そして、大学生活で特別なことをしていないといけないわけではありません。日々の生活の中から何を学び取ったかです。自分自身と、送ってきた大学生活に自信を持ち、夢に向かって全力で挑戦してください。

「留学体験」が進路を決めた

市来江梨さん（経営学科、笠原伸一郎ゼミ＝リコー）

メーカー志望というスタンスで就職活動を始めました。きっかけは2年次の短期留学での経験にあります。留学先の米国で「日本について知っていることは？」と質問すると、返ってくる答えの多くが企業名であることに驚きました。ソニーやトヨタがその筆頭で、それらが製造業であったことに着目し、「日本の強みはモノ作りである」と考え、志望業界をメーカーに絞りました。

同時に海外と“絡む”仕事をしたいという希望もありました。従ってメーカーで海外展開に積極的な企業の説明会を聞いて回りました。

説明会回りや面接を重ねるうち、メーカーは星の数ほどあっても、ほとんどの企業は従業員の女性比率が20%以下であるということを実感。一方で女性を積極的に採用する方針を取っている企業もあり、倍率は高くても自分を試すチャンスはあると、前向きに採用試験に臨みました。

準備としては自己分析や筆記試験、面接の対策を徹底的に行いました。面接では、「志望理由が“留学経験”にある点が納得できる」と、面接官からおほめの言葉をいただきました。また早くから筆記試験対策に取り組み、大みそかには「紅白歌合戦」を聴きながら問題集を解いた覚えがあります。

就職活動は、その時々でできることに全力で取り組む長期戦です。後輩の皆さん、山や谷を乗り越えて一回り成長し、その上で、ありのままの自分と自身の描く将来像とが重なる企業に挑戦してください。

人との“つながり”を大切に

山崎健治さん（商業学科、在間敬子ゼミ＝東海旅客鉄道）

商学部に入學して、はじめからキャリアパスをはっきりイメージできたわけではありません。1年次から公務員講座の受講、バイト、旅行、サークル活動など、いろいろなことに挑戦しました。2年次からは「環境保全と企業経営」をテーマとするゼミナールに入り、ゼミの課題で「エコプロダクツ展」に行った時、鉄道業界は毎日無事に人を運ぶだけでなく、環境保全、駅中（えきなか）ビジネス、ICビジネスなど、お客様に満足していただけるような活動に取り組んでいることを知りました。そこから鉄道業界に興味を持ち、公務員と鉄道会社の二つに絞ることにしました。

最終的に東海旅客鉄道（JR東海）から内定をいただきましたが、悔いを残さないよう、とことん企業研究と自己分析をしました。就職課にも何度も足を運び、印象に残る自己PRの仕方などをアドバイスしてもらいました。また電話や面談で志望企業の先輩社員の「生の声」をできる限り聞くようにして、その企業で自分がやっていけるか、どのようなスキルを積み上げていけるかなどをイメージしました。「ここまで調べて落ちたら、その企業とは縁がなかったと考えよう」と決め、就職試験に臨みました。

私の就職活動は決して一人の力でできたものではありません。就職課・先生・両親・友達・先輩たちの貴重な助言がありました。さまざまな人とのかかわりで、自分を明確にし、有意義な企業研究ができました。後輩の皆さん、「日ごろからの人とのつながり」を大切にすると良い結果になると思います。

行動の集積が魅力に変わる

白井佑季さん（英語英米文学科、ボレッタ・ウィリアム・Lゼミ＝JALスカイ東京）

英語に興味があり、海外とつながっているところで働きたいという気持ちから「空港でグランドスタッフとして働きたい！」というのが私の夢でした。そのために、大学生活では、米オレゴン大学に中期留学をし、専修大学に来ている外国人留学生と国際交流をしてきました。そのような経験からさらに夢への思いは強くなりました。

初めはあこがれとしてこの職種に興味を持っていましたが、あこがれだけでは仕事は務まらない思い、行動の合間を縫って空港で働いている人の姿を見に行ったり、実際に話しかけてみたり、専大卒で航空業界で働いている人に話を聞きに行ったりしました（就職課で探していただきました）。就職活動で大切だと感じ

たのは、「まず行動してみる」ということです。行動すればした分、自分の経験となってきました。経験がたくさんあれば魅力ある人となり、面接や選考でも目立ちます。

面接では自分を良く見せるのではなく、ありのままの自分を出しました。自信を持つために、徹底的に自己分析しました。就職課には何度も足を運び、先生方のご指導を受けましたし、友人とお互いに分析しあったりして、自分自身を見直すことができました。

就職活動は一人で行うのではなく、多くの人との出会いや助けによってなされるものだと思います。日ごろから人とのつながりを大切に、大学生活での自分の経験を増やしていきましょう。そして、納得するまで就職活動をしてください。

就職特集 — 希望の就職をかなえるために

07年3月卒業生 就職活動アンケート調査報告

夏期休暇まであと半月。秋から始まる就職活動のことが気になり就職課を訪れる学生も増え始めた。就職課では、夏期休暇明けの9月下旬に第1回就職ガイダンスを実施するので決してあわてる必要はないが、大まかな流れを押さえておくことで就職活動に対する不安は解消される。「自分らしい就職活動」を行う参考資料として、このアンケートを活用してほしい。(民間企業就職者数2829人、回答者数1563人、回答率55.2%)



就職特集 — 希望の就職をかなえるために

専門職養成講座

「アナウンサーへの道」キーワードは“国語力”

バランスとれた学生生活を送ることが第一歩

就職課では、アナウンサーを目指す学生のための講座（年間全50回）を昨秋から開講している。講師のフリーアナウンサー・山本勇さんはアナウンサー養成の私塾を主宰し、過去28年で100人の「プロアナ」を輩出した実績を持つ。民放キー局のアナウンサーも講座に協力しており、24人の学生が、目標に向かって切磋琢磨（せっさたくま）している。



▲山本さん(右端)の熱い指導が“力”になっていく

7月4日は、1分間の自己PRを行うカメラ実技の講座。表情や声のトーンなどを振り返り、山本さんがそれぞれ講評してくれた。入学時からアナウンサーを志しているゼミ長の藤田健太さん(経済3)は、進学塾スタッフの経験を「私は“親しみやすい”お兄さんです」と切り出し、「相手の懐に飛び込む取材をしたい」とアピールした。「目標に向かって懸命に取り組む姿勢が身につく、学業や日常生活でも『変わったね』と評価されます」と実力アップの効果を実感している。



▲カメラを前に笑顔でPRする藤田さん

山本さんは、「試験の第一歩はエントリーシートの通過です。アナウンスの技術を磨くのはもちろんのこと、最も大切なのは、バランスのとれた充実した学生生活を過ごした常識ある人間に成長すること」と話す。アナウンサーになるのは狭き門だが、「1%の素質と後は努力。発声・発音の訓練をコツコツと積み重ね、課題をこなしていくうちに、ある日大きく『変身』できるのですが、地道な作業ゆえにあきらめてしまう人が多いのも事実です」と長年の経験から語る。

「目に留まる完成度の高いエントリーシート作成のためには『自分史ノート』を作ること。常に大学ノートを持ち歩き、そこに『自分の手』で書き、『自分』と対話すること。『手書き』をすることで頭に残り、積み重ねが自信と成果につながります。アナウンサーの勉強は『話す』ことですが、それ以上に『聞く』ことが大切。キーワードは『国語力』と強調する。

一般企業でも第一関門は「エントリーシート」だ。どの業界でも活用できる山本さんの教えを実践してみよう。

就職特集 — 希望の就職をかなえるために

就職希望者就職率94.4%

07年3月卒業者就職状況まとめ

07年3月卒業者の就職状況がまとまった。就職希望者に対する就職率は、94.4%、女子だけでは96.3%となった。また、就職希望率は前年度比6.3ポイント上昇の79.3%であり、フリーターやニートなど就職を先延ばしにする学生の増加が社会問題となっているが、本学は全国平均の69.2%(文科省・厚生労働省調査)を大幅に上回った。



▲就職相談風景 (神田キャンパスで)

統計資料から

1. 就職希望率・就職希望者就職率<表1・2>

就職希望者に対する就職率が最も高かった学部は、全体・女子ともに商学部であった。学科別・業種別就職状況は、(グラフ1)のとおり。なお、卒業生に対する就職率は74.9%と前年度を5.8ポイント上回っている。



▲「S-net」には本学学生を積極的に求める企業の求人情報が

2. 求人申し込み件数

本学への求人申し込み件数は、前年度比12.1%増加し、7413件。すべての業種で増加したが、特に「情報通信業」の増加(27.0%増)が顕著であった(表3)

<表1> 過去3年間の就職状況

| | 06年度 | 05年度 | 04年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| 卒業生数 | 3,815人 | 4,071人 | 3,932人 |
| 就職希望者数 | 3,024人 | 2,970人 | 2,610人 |
| 就職希望率 | 79.3% | 73.0% | 66.4% |
| 就職者数 | 2,856人 | 2,814人 | 2,453人 |
| 就職率 | 94.4% | 94.7% | 94.0% |
| 就職活動継続中 | 168人 | 156人 | 157人 |

3. 内定社数<グラフ2>

「売り手市場」を背景に、複数企業から内定を得た学生は前年度比2.9ポイント増の56.6%。

<表2> 学部別就職率

| | 06年度 | | 05年度 | | 04年度 | |
|------------|------|------|------|------|------|------|
| | 全体 | 女子 | 全体 | 女子 | 全体 | 女子 |
| 経済学部 | 93.8 | 97.5 | 95.9 | 97.6 | 94.7 | 95.6 |
| 法学部 | 95.3 | 96.2 | 93.8 | 93.4 | 92.3 | 92.6 |
| 経営学部 | 94.7 | 96.5 | 96.0 | 97.3 | 97.4 | 98.4 |
| 商学部 | 95.6 | 98.2 | 93.8 | 94.1 | 92.6 | 92.4 |
| 文学部 | 93.9 | 95.5 | 93.9 | 95.4 | 92.5 | 93.0 |
| ネットワーク情報学部 | 91.9 | 91.9 | 95.6 | 96.9 | 95.1 | 94.5 |
| 全体 | 94.4 | 96.3 | 94.7 | 95.4 | 94.0 | 94.1 |

就職採用環境の特徴

全体の採用環境を分析してみた。

1. 採用予定数の増加と求人倍率

日本経済新聞社が06年春にまとめた07年度採用計画調査(最終集計)によると、主要企業の新卒採用数は前年度比19.5%増となり、4年連続で前年度を上回った。背景には、(1)景気回復による収益向上 (2)採用抑制からくるいびつな年齢構成の是正 (3)団塊世代の大量退職による人手不足感 (4)戦略分野強化のためのコア人材の確保 (5)中途採用市場でのコア人材確保の難しさ、などがあげられている。

<表3> 求人申込件数

| | 06年度 | 05年度 | 04年度 |
|-------------|-------|-------|-------|
| 農・林・漁・鉱・建設業 | 345 | 300 | 246 |
| 製造業 | 1,318 | 1,205 | 1,028 |
| 卸・小売業 | 1,736 | 1,581 | 1,451 |
| 金融業 | 404 | 373 | 340 |
| 不動産・運輸業 | 514 | 477 | 411 |
| マスコミ | 340 | 324 | 325 |
| 情報通信業 | 1,199 | 944 | 804 |
| 教育 | 201 | 172 | 157 |
| その他の業種 | 1,356 | 1,238 | 1,031 |
| 計 | 7,413 | 6,614 | 5,793 |

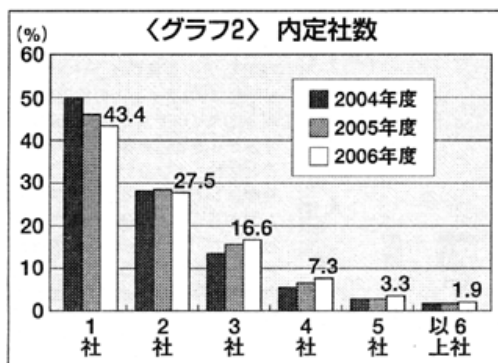
<グラフ2> 内定社数

求人倍率は、「バブル期並み」と表現されたが、リクルートワークス研究所の「大卒求人倍率調査」によると、求

人倍率は1.89倍。しかし、バブル期の最高値は、2.86倍(91年3月卒)であったので、バブル期には及んでいない。

2. 早期化

卒業学年に達しない学生への面接など、実質的な採用選考は4月1日以降に行うとする日本経団連発表の「倫理憲章」(新規学卒者の採用選考に関する企業の倫理憲章)とその趣旨の実現をめざす「共同宣言」への賛同企業が、前年度を74社上回る888社となった。



しかし、株式会社ディスコの「採用活動に関する調査」によれば、3月下旬までに選考を開始した企業は前年度比5.3ポイント増の57.3%に上った。また、本学学生の就職活動調査でも、1月末までに、選考にかかわるセミナー・説明会に参加した学生は、9.3ポイント増の41.9%であった。「共同宣言」に賛同しない企業の早期化が背景にあったといえよう。

07年度の展望

07年度の新卒採用がさらなる「売り手市場」となることは間違いないが、内定辞退者の歩留まりが読めずに、最終面接から内定連絡までを引き延ばすケースや、面接1回で内定が出るケースなど、「多様な内定」が出現しそうな様相である。

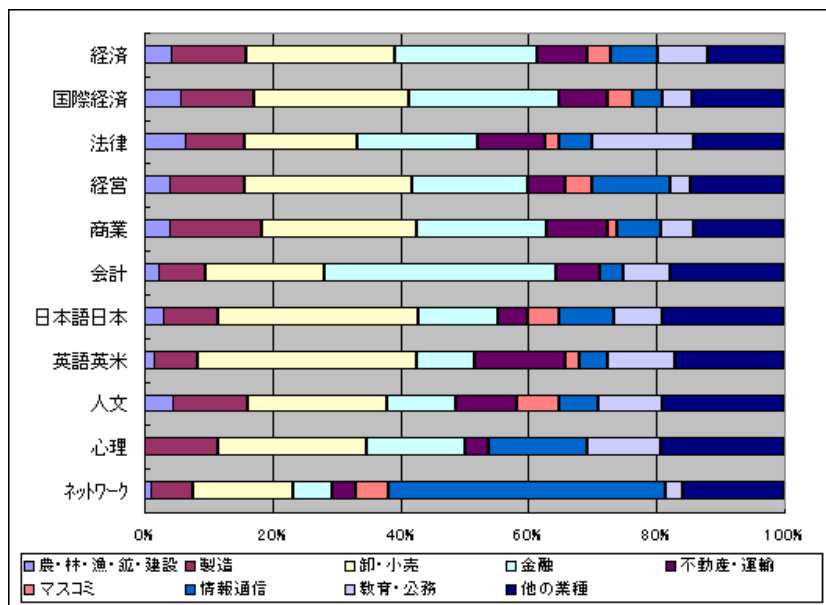
しかし、たやすく内定を得ることでのミスマッチ誘発や、それによる中途退職の増加なども危惧(きぐ)される。

☆☆☆☆☆

就職課では今後も「学内企業説明会」の開催を予定している(詳細は掲示・ホームページで)。現時点で就職活動が思うように進んでいない学生は、就職課に相談にきてほしい。

また、進路を決定した学生は(進学・留学等含む)、「進路届」を提出してほしい。

〈グラフ1〉学部別・業種別就職状況



(就職課)

就職特集 — 希望の就職をかなえるために

主な就職先<07年3月卒業生>

【製造】

亀田製菓／麒麟麦酒／東洋水産／中村屋／日本たばこ産業／日本ハム／ブルボン／明治製菓／明治乳業／森永製菓／森永乳業／ヤクルト本社／山崎製パン／レナウン／クリナップ／タカスタンダード／王子製紙／キングジム／大日本印刷／電通テック／凸版印刷／プロネクス／エーザイ／小野薬品工業／小林製菓／中外製菓／萬有製菓／久光製菓／資生堂／マンダム／太陽日酸／コスモ石油／NOK／東洋ゴム工業／日本特殊陶業／TOTO／JFEスチール／SUMCO／三和シャッター工業／ノーリツ／YKK AP／荏原製作所／日本精工／三菱重工業／ヤマザキマザック／アドバンテスト／アンリツ／シャープ／ディスコ／東芝テック／日本電気／日本ビクター／松下電器産業／三菱電機／横河電機／京セラ／TDK／HOYA／村田製作所／ローム／アイシン精機／スズキ／トヨタ紡織／日産車体／日野自動車／富士重工業／ローランド／ソニー・ミュージックエンタテイメント

【卸・小売】

兼松／興和／日通商事／全日空商事／ユアサ商事／エルメスジャポン／東京スタイル／トゥモローランド／ファイブ・フォックス／メンズ・ビギ／ルイ・ヴィトンジャパングループ／ジョルジオアルマーニジャパン／極洋／国分／ニチロ／日本アクセス／日本水産／マルハ／大塚商会／加賀電子／キヤノンマーケティングジャパン／ダイワボウ情報システム／東京エレクトロン／タカラトミー／トーハン／日本出版販売／ポーラ化粧品本舗／ユニ・チャーム／伊勢丹／小田急百貨店／西武百貨店／そごう／大丸／東急百貨店／松屋／丸井／三越／イオン／ダイエー／イトーヨーカ堂／セブン-イレブン・ジャパン／ニッセン／青山商事／ユナイテッドアローズ／ユニクロ／東京トヨタ自動車／ヤナセ／日本トイザらス

【不動産・運輸】

住友不動産／東急コミュニティー／東急リパブル／三井不動産販売／近畿日本鉄道／京浜急行電鉄／東海旅客鉄道／東京急行電鉄／東京地下鉄／東武鉄道／西日本旅客鉄道／東日本旅客鉄道／日本通運／日立物流／ヤマト運輸／全日本空輸(客室乗務員)／エイチ・アイ・エス／近畿日本ツーリスト／クラブツーリズム／JTB法人東京／JTB首都圏／阪急交通社／近鉄エクスプレス／JALグランドサービス／JALスカイ東京／JALナビア東京

【情報通信】

イー・アクセス／ウィルコム／東日本電信電話／アルゴ21／アルファシステムズ／伊藤忠テクノサイエンス／インテック／NECソフト／エヌ・ティ・ティ・データ／ジェイアール東日本情報システム／TIS／DTS／東京海上日動システムズ／日本アイ・ビー・エム／日立ビジネスソリューション／富士通エフ・アイ・ビー／富士通ビジネスシステム／ヤマトシステム開発／日立情報システムズ

【農・林・漁・鉱・建設】

雪国まいたけ／旭化成ホームズ／鴻池組／住友林業／積水ハウス／大和ハウス工業／戸田建設／長谷工コーポレーション／三井住友建設／三井ホーム

【金融】

みずほ銀行／三井住友銀行／三菱東京UFJ銀行／りそな銀行／オリックス信託銀行／中央三井信託銀行／三菱UFJ信託銀行／日本マスタートラスト信託銀行／イーバンク銀行／新生銀行／北洋銀行／北海道銀行／青森銀行／北日本銀行／秋田銀行／荘内銀行／大東銀行／常陽銀行／足利銀行／群馬銀行／武蔵野銀行／京葉銀行／千葉銀行／千葉興業銀行／東京都民銀行／東日本銀行／八千代銀行／神奈川銀行／横浜銀行／第四銀行／北陸銀行／山梨中央銀行／八十二銀行／大垣共立銀行／静岡銀行／第三銀行／鳥取銀行／広島銀行／徳島銀行／百十四銀行／伊予銀行／福岡銀行／沖縄銀行／各地方銀行／各信用金庫／各信用組合／商工組合中央金庫／中央労働金庫／クレディセゾン／ジェーシービー／三井住友カード／東京信用保証協会／日本労働者信用基金協会／農林中央金庫／SMBCフレンド証券／岡三証券／大和証券／日興コーディアル証券／野村証券／みずほインベスターズ証券／三菱UFJ証券／第一勧業アセットマネジメント／第一生命保険／日本生命保険／明治安田生命保険／アメリカンファミリー生命保険／ソニー損害保険／損害保険ジャパン／東京海上日動火災保険／三井住友海上火

災保険

【マスコミ】

ジュピターテレコム／テレビ東京／フジテレビジョン／東急エージェンシー／博報堂アイ・スタジオ／朝日新聞社／第一法規／東京書籍／双葉社／エイベックス・グループ・ホールディングス

【教育・公務】

中学校・高等学校教員／国家公務員2種／国税専門官／法務教官／各県庁／東京都特別区1類／各市区役所／東京消防庁／各消防本部／警視庁／各県警本部／警視庁事務／自衛隊幹部候補生

【他の業種】

東急リゾートサービス／東京ベイ舞浜ホテル／パレスホテル／プリンスホテル／ペニンシュラ東京／すかいらーく／日本マクドナルド／スターバックスコーヒー／日本郵政公社／各農業協同組合／日本中央競馬会／オリックス／大和商事リース／ワタベウエディング／あずさ監査法人／船井総合研究所／日本科学技術連盟／日本証券業協会／パソナ／フィリップ・モリス・ジャパン／ミキハウス／ヤフー／楽天／らぽーと